

科目名	災害看護（医療）とグローバルヘルス特論	担当教員	高橋謙造
科目属性	専門科目 D	単位数	2単位（面接 0.25 単位）
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p><b>【概要】</b></p> <p>本講義では、災害対応時に保健医療従事者（公衆衛生関係者を含む）が留意すべき事項を理解し、将来的な災害発生時に実際に災害支援活動に従事しうる能力を習得する。加えて、グローバルヘルス（国際保健）領域において、特に災害関連で Hot Issue となっている事項に関しても習得する。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の支援の流れやステークホルダーについて説明できる</li> <li>・災害時の DOs&amp;DON'Ts や発生しうる保健医療の課題について説明できる。</li> <li>・スフィア（SPHERE）・スタンダードについて説明できる。</li> <li>・習得し得た内容に基づき、災害支援計画の立案ができる。</li> </ul> <p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害看護（医療）とは（1～3回相当） <ol style="list-style-type: none"> <li>① 災害のフェーズと支援ニーズについて理解する。</li> <li>② 災害支援の流れについて理解する。</li> <li>③ 看護（医療）の役割を理解する。</li> <li>④ 公衆衛生従事者の（行政官、保健師等）の役割について理解する。</li> <li>⑤ DMAT、JDR 等の支援組織と機能について理解する。</li> </ol> </li> <li>2. 災害看護（医療）の現場での実践に学ぶ（4～7回相当） <p>テキスト①及び追加資料等の精読に基づき、以下の点についてレポートを作成（1,000-2,000 字）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) DOs &amp; DON'Ts <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 現場において行うべきこと (Dos)</li> <li>(イ) 現場において行うべきでないこと (DON'Ts)</li> <li>(ウ) Good Practice の実例</li> </ol> </li> <li>(2) 現場で発生する課題の予測 <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 外傷等への対応</li> <li>(イ) 感染症対策</li> <li>(ウ) 精神保健対策（PTSD、うつ等）</li> <li>(エ) 母子保健対策</li> <li>(オ) 既存の疾患への対応（慢性疾患等）</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3. スフィア（SPHERE）・スタンダードについて理解する（8～9回相当） <p>テキスト②の精読に基づき、以下の点についてレポートを作成（1,000-2,000 字）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健医療分野での基準について</li> <li>(2) その他、住環境等の基準について</li> </ol> </li> <li>4. グローバルヘルス（国際保健）領域における教訓（10～13回相当） <p>テキスト①及び追加資料の精読に基づき、以下の点についてレポートを作成（1,000-2,000 字）。</p> </li> </ol>			

- (1) 援助の押し付け（失敗）事例と、成功事例
- (2) Child Protection（子どもの保護）の必要性と成功事例
- (3) 国際 NGO とエビデンス

5. 課題研究（14～15回：スクーリング）

- (1) 主として、2., 3.で習得した内容に基づき、仮想的な災害事例に対する支援計画、モニタリング計画を立案する。

スクーリング後に、支援計画、モニタリング計画および、実習の振り返りを含めたレポートを作成する（1,000-2,000 字）。

**【評価方法】**

スクーリング 25%、レポート 25%、試験 50%の割合で総合して評価する。

**【教科書】**

- ①スフィア・ハンドブック 2011年版

<http://www.refugee.or.jp/sphere/> よりダウンロードできます

- ②國井 修 編. (2012). 「災害時の公衆衛生—私たちにできること—」 南山堂  
(ISBN-13: 9784525181314)

- ③追加資料（登録後に配布予定）

**【参考図書】**

- ① 兵庫行動枠組（Hyogo Framework for Action）

[http://www.unisdr.org/files/1037\\_wakugumi1.pdf](http://www.unisdr.org/files/1037_wakugumi1.pdf) よりダウンロードできます